

2018年度

第58回 日本社会学史学会大会プログラム

期日：2018年6月23日（土）～24日（日）

会場：山梨大学（西キャンパス・総合研究棟1F）

☆第一日目 6月23日（土）

- I 理事会 (12時～12時50分)
- II 開会の辞 (12時55分～) 日本社会学史学会会長 千葉芳夫
- III 一般研究報告1 (13時～14時15分) 司会 森 元孝 (早稲田大学)
- ①シュッツにおける「社会科学の哲学的基礎づけ」とは何か 高艸 賢 (東京大学)
- ②社会的世界論、芸術世界論の社会学的起源と学史への逆輸入
鎌田大資 (相山女学園大学)
- ③東欧系ユダヤ人カナダ移民二世という出自がゴフマン社会学に対してもつ意味
薄井 明 (北海道医療大学)
- IV 一般研究報告2 (14時25分～15時40分) 司会 小松丈晃 (東北大学)
- ④ウェーバー『宗教社会学』のテキストマイニング
—意味解釈と計量分析の接合の試み— 橋本直人 (神戸大学)
- ⑤初期ハーバーマスのシェリング論における歴史の構造 飯島祐介 (東海大学)
- ⑥ニクラス・ルーマンの社会システム理論における時間の二重性の問題
—作動時間と観察時間の区別をもとに— 梅村麦生 (京都大学)
- V 一般研究報告3 (15時50分～17時05分) 司会 江頭大蔵 (広島大学)
- ⑦オルテガ・イ・ガセットに会った日本人：小島威彦、その人に見るオルテガ受容
—娘の証言を手掛かりとして— 小山義博 (日本大学)
- ⑧タルコット・パーソンズと「死の近代」
—キリスト教社会における生と死の観念— 大黒正伸 (創価大学)
- ⑨未来社会論の構想 その三の1 飯田哲也 (立命館大学)
- VI 総会 (17時10分～17時40分)
- VII 懇親会 (18時～20時) <生協食堂>

☆第二日目 6月24日(日)

VIII シンポジウム (10時30分～15時)

共通テーマ 《グローバル化と各国社会学理論の新潮流—アメリカ社会学理論—》

司会 鈴木健之 (山梨大学)

太田健児 (尚絅学院大学)

- 報告1 「Alexander 社会理論の現在
—文化社会学からの市民社会論の展開—」
兼子 諭 (法政大学)
- 報告2 「否定的評価と自己に関するこれまでと今後
—内面化から抵抗へ、そして抵抗の困難へ—」
井口尚樹 (青山学院大学)
- 報告3 「マイケル・マンの理論枠組とその拡張可能性」
上田耕介 (東北福祉大学)
- 討論者1 小谷 敏 (大妻女子大学)
●討論者2 佐藤成基 (法政大学)

趣旨説明 (10時30分～10時40分)
報告 (10時40分～11時55分)
討論 (11時55分～12時25分)
休憩 (12時25分～13時25分)
リプライ (13時25分～13時45分)
フロア・総括 (13時45分～15時)

【大会のご案内】

- 報告時間 自由報告は25分（報告15分、質疑応答10分）
シンポジウムの報告時間は各25分、討論者発言は各15分
- 大会参加費 一般会員2,000円 学生会員・非会員1,000円
- 懇親会費 3,500円

- 大会・総会会場 総合研究棟1F・Y-11教室
- 会員控え室 Y-14教室
- 理事会会場 Y-13教室（兼シンポ打合せ会場）
- 懇親会会場 生協食堂（3,500円）

- 論文抜刷および書籍等扱い 1週間前までに事務局へ文書を持って必ずお申し出ください
大会当日の申し込みは一切お受けできません。厳守ください
- コピーについて コピーは個人の責任でお願いします。大会開催校および事務局では、一切のコピーサービスをお断り申し上げます

- 開催校所在地 〒400-8150 甲府市武田4-4-37
（大会連絡先） 山梨大学教育学部鈴木健之研究室
TEL 055-220-8215

- 飲食施設 学内の食堂は、大会両日とも営業しておりません。学内には、山梨大学ローソン（飲食スペースあり）セブンイレブン。周辺に飲食店もございます。大学周辺飲食マップをご用意いたします。

- 交通機関 最寄り交通機関および大学案内は右図参照

- 校舎案内 （詳細は、本学会HPおよび山梨大学HPをご参照ください）

☆日本社会学史学会事務局

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部社会学研究室

TEL 03-5317-8978（事務局直通）

FAX 03-5317-9423（学科研究室）

（電話でのお問い合わせは、水・木）